

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

7月号

令和4年6月30日

～高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子～

笑顔とともに 輝く姿

校長 田淵 恵子

「校長先生、つづきの丘小学校が楽しいです。」

先日、1年生の教室を訪問した際、一人の子が近寄ってきてそっと教えてくれました。嬉しくなって思わず理由を問いかけると、「友達がたくさんできたからです。」との答えが返ってきました。続けて何人ぐらい友達ができたのか尋ねると、少し考えてから「14人です。」と教えてくれました。そのエピソードを担当に伝えると、「具体的ですね。」と笑いながらとても嬉しそうにしていました。

学校では、子どもたちにとって安心・安全な場となるよう日々努めています。今回、子どもから「学校が楽しい。」と伝えに来てくれたことは、学校や学級が居心地のよい場所となっているからだと思えます。今後も子どもたちが、「学校って楽しいね。」「明日も学校に行きたいな。」と思わずつぶやいてしまう笑顔溢れる学校づくりに取り組んでまいります。

さて、今年度もつづきの丘小学校をよりよくしようと、子どもたちが考えた児童会スローガンが決まりました。「元気なあいさつ 力を合わせてかがやこう つづきの丘の仲間達」です。早速、力を合わせて輝く姿がみられました。



5月31日、2年間、コロナ禍で活動を控えていたペア活動の「なかよしタイム」を実施しました。「なかよしタイム」では、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生とがペアを組み、異学年とのつながりを大切にした交流活動を行っていきます。第1回目の顔合わせの会では、4・5・6年生がリーダーとなり、自己紹介やゲームをして楽しみました。特に、今回が初めて参加となる低学年は多少緊張していたようでしたが、上級生から優しく声を掛けられ、世話をしてもらったことで緊張もほぐれ、ペア活動を楽しむことができました。

「なかよしタイム」で印象的だったのは、子どもたちの協力と笑顔です。上学年は活動が楽しくなるようにリーダーシップを発揮し、下学年はしっかり話を聞いて協力するなど、各々が役割を果たし、どのグループも笑顔でいっぱいでした。



ペア活動では、学年が異なる児童と共に楽しくふれあったり、協力したりと主体的に関わり、よりよい人間関係を構築しながら学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養うことをねらいとしています。上級生はリーダーとして責任感や思いやりを、下級生は協力していこうとする姿勢や上級生に対しての憧れや感謝の気持ちを育てます。「なかよしタイム」に限らず異学年との交流は、学級内だけでは得られない子どもの成長を期待することができます。今年度はペア活動を中心に、あらゆる教育活動の中で異学年交流の機会を取り入れ、つながりを大切に責任感・思いやり・感謝・人間関係の広がり、豊かな心を育ててまいります。

保護者・地域の皆様、7月もご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。